

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	【あなたらしく】を大切に個別にケアを行っている。ふれあいのクラブや地域の行事参加		住み慣れた地域であなたらしく過ごしていただくように努力する。地域の皆さんに認知症を理解していただけるように働きかけていきたい
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	出来ない部分のみを援助し、満足な生活を送っていただく。三つのかけるを職員が確認しあう(・気にかける・話し掛ける・肩に手をかける)機会を持っている		理念の確認をより確実にする為に、職員の目につきやすい場所に掲示していきたい
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ほとんどが地元の方の為、地域の昔のことを良く知っておられ、仲間意識がある。また地域行事には積極的に参加している。		
理念と共有 3項目中 1項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地元の職員がおり、隣近所の方をお呼びして楽しんでもらっている	○	季節を感じる行事の計画
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には必ず参加させていただき(観桜会・餅つき会・コスモス会等)、またふれあいの納涼祭には参加していただき交流がある	○	季節ごとの交流はあるがもっと気軽に立ち寄りいただきたい又、今後地域の皆様に認知症をより理解していただくようにしていきたい。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	季節ごとの交流はあるがもっと気軽に立ち寄りいただきたい又、今後地域の皆様に認知症をより理解していただくようにしていきたい。
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行うことにより、自らを振り返る機会となる。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本年は2月と8月に開催させていただき貴重なご意見や提案をいただき 認知症をよく理解していただき、地域とのより深い交流の切っ掛けとなる		会議の内容や議題について委員の方に相談し、意見を伺うなどしてお互いに行き来できる関係でありたい
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	どうしても敷居が高い気がするが、認定調査時に相談し、アドバイスを受けている	○	地域包括支援センター等と連携を取り相談しながらサービスの質の向上に努めたい
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者を通じて職員に理解してもらえるように努力している	○	研修の場としての利用については、入居者の必要性をよく考慮した上で行っていきたい
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	週一回の役職会議では、いつも皆で確認し合っている。又課内でも話し合っている		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 1 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申し合わせ事項を用意し、理解していただきやすく説明している		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時にはしっかり説明を行い、普段も気軽に伝えていただけるように心掛け気配りを行っている		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	手作りアルバムを用意し、安心していただけるように現在は口答で説明を行っている		ご家族や関係者にケース記録を閲覧していただき報告、日頃の様子を確認していただく

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族と職員は信頼関係が築けており、表現しやすいと思っている		家族会を家人様に立ち上げていただきサポートしていければよいと考えます。またケース記録も開示し、日々の生活を報告していきたい
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の課内会議を行い、意見を出せる場としている		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	特別行事等は全員参加出来る様にシフトを組んでいる		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	できるだけ馴染みの職員で支援していけるように、法人内での職場移動はないように配慮していただいている。		
理念を実践するための体制 7項目中 1 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修(実習)に役職者2名参加し、反省や確認を行い、職員に伝えている。また法人内研修は全員参加している。(・ケアについて・緊急対応・感染症対応等)		個別育成計画に作成して、意識的に教育を行っていく
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東近江ブロックのサービス担当者会議に出席し、勉強会としている		三ヶ月に一回開催される担当者会議に、進んで参加していく
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員同志信じあうことが、一番のストレス軽減でありお互いに協力している		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	お互いに認め合い誉めあう事が大切であることから、管理職自らスタッフへの声かけをしている	○	公休の消化を把握するように心掛けている
人材の育成と支援 4項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日頃の会話の中で、話し易い雰囲気を作り、問題点を見つけやすくなる様に配慮している		三つのかけるを心掛けている。(・話かける・肩に手をかける・気にかける)
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時、気持ちよく入っていただけるように温かい言葉掛けを心掛けている		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面会時、気持ちよく入っていただけるように温かい言葉掛けを心掛けて、望まれていることを理解するようにしている	○	入居日は家人と一緒に来ていただき、帰られるときは必ず説明をされる
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に一度ホームへ来ていただき、皆さんと一緒におやつ等を食べていただくなどして、お互いになじみ易くなるように過ごしていただく		入居前の生活を見せて頂く。(在宅や施設利用状態)
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 1 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	物を大切にするという気持ちを教わり、いっしょに作り上げていく。とくに若い職員は教えていただく場面が多々ある	○	入居者と職員が共に行うことを大切にする
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家人には安心して頂く事を第一とし、日頃の生活の様子をお知らせしている	○	手作りアルバムを用意して、ホームでの日常を写真で知っていただき、安心の材料とされる
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	良い場面での接触を持っていただき、信頼関係を深めていただきたい		進行していけることに対し言葉を選んで、しっかりと説明していく

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	支えていただいた近隣の方の面会は大いに歓迎している		家人了解の下、本人は認知症であるということの説明を行う
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	さりげない席決めを行い、互いに支えあうように配慮する	○	席替えを時々行い、リーダー的な方がいろんな方と席を同じにして、会話が弾むように配慮し、家事も分担していただき一人ずつのペースで行っていただく
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特養へ入所される等の場合は、皆さんと面会に行き馴染みを続行している		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 3 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	特に退院された当初や、体調不良時等は個別対応を行い安心されるように努めている	○	家族を通じたりまた、ご本人自身から望まれる事を理解したい
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を利用して、情報を出来る限り記録に残している。入居前には家人に記入願っている。	○	入居後の補足記入を行い、家人にお知らせする
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ずつの健康状態や残存能力は、職員全員が理解している		
一人ひとりの把握 3項目中2項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回のカンファレンスで共通の計画を立て、家人の意見を大切に面会のたびに話し合い、お互いにケアの協力者とし、同意を得ている	○	三ヶ月ごとの計画の見直しを行う
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	小さな変化にも日々対応して、職員全員に申し送っている。その場合家人には後日報告となることもある。	○	三ヶ月ごとの計画の見直しを行う
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録にて、個別に記録している		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員に看護師はいないが、併設の看護師がすぐ対応してくれる為、入居者職員共に安心感が強い		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	徘徊時は警察や地域の方に協力をお願いしている。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	併設のデイや特養へはたびたび出かけてイベント等一緒に過ごされる事がある		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医の意向を尋ね、希望される医師にされる。現在は、2名の医師の往診をお願いしている		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医で、少し距離的に遠いのが難であるが、よく理解して頂き安心できる	○	できればもう少し近くの医師と相談できればと思う
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設の看護師に相談に乗っていただき皆さんの状態をよく把握してくれている		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は家人了解の下情報を提供し、退院時はこちらから病院に出向き、情報をいただいている		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化になられた場合については、家人と話し合っているケースもある。終末期の生活についても、出来る限りホームで生活していただきたいと考えます(医療行為が発生しない限り)	○	よく話し合い取り決めについては順次センター方式に記入明記していきたい

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療的行為が必要となり、日常化した場合はホームでは介護に限界がある		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報はしっかりと提供し、住み替えが行われても戸惑われる事を少しでも軽減していきたい		
地域資源との協働 10項目中1 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	ケアの声かけは小さく、感謝の言葉やお願い事は大きい声を心掛けている。個人情報事務室の引き出しに格納し、日頃の記録簿も職員意外の目が届かないように配慮している		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている		○	これからも自己決定の支援を周知徹底していきたい
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本の生活ペースはだいたい決まっているが、その中で自分なりのペースで生活していただいている		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中2 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家人の意見は大いに参考としている。理美容についてはいろんな方法を利用される。(・家人が散髪に来られる・家人の美容室へ出かけられる・訪問美容室利用)		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	少しでも家事を行っていただき、自分の意志で生活しているという気持ちをもっていただけるように支援している。食材(野菜)には皆さんに触れていただけるように配慮している		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶の時間、好みを選んでいただくときもある。またお誕生日会には、本人の好みのメニューを心掛けている		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄を基本とし、見守り・介助等その方にあつた支援を行っている		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在の入浴回数は、入居者からの提案で決まった。順番については、概ね決まっているがタイミングを見計らって変化する		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お茶を用意する、寝具の清潔等家庭と少しでも同じように快適に過ごしていただけるよう支援している		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中1 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事をさり気無く分担して満足していただけるように工夫している。また家人にお願いして、若い頃の写真を持ってきていただき友達同士で見せ合って楽しんでおられる	○	たとえ状態が重度化されていっても手助けがあれば自分らしく生活していただけるように支援していきたい
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	盗られ妄想の方はお金を持っておられない。他の方も入居時持っておられたが、あまり必要性が無く現在はどなたも持っておられない		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ふれあいの厨房へ出かけたりごみだしなどは皆さんと一緒にいる。お出かけ行事としては・回転すし・ぶどう狩り・小学校の運動会等		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を味わう目的の外出は、出来るだけ機会を多く持つように努力している	○	車両の都合で出かけることに制約されるが、もっと気軽に出かけたい
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかかってくたら話されるように支援している。かけられることはない		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は楽しんで来て頂けるように、職員全員が努めている		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中2 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はない		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵を日中はかけずに、チャイムを利用して職員も一緒に出かけるようにし、出て行かれるのを止めなくなってからはひとりで出て行かれる回数が少なくなった。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りをしっかり行うよう声掛け合っており、死角に入られたことを確認する	○	昼夜逆転にならないように工夫していく
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・鋏・針等はいつも身近にあり、使用されているが見守りを行って事故防止に努めている	○	アイロンの使用を現在中止しているが、再開出来る様に努力していきたい
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	その方の危険なことは何かを考え、連携のケアを行う。具体的にどうすればいいか法人内の役職会議でいつも皆と話し合っている		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命の講習を全員が5月に受けた	○	看護師指導の下、訓練が行えればよいと思います
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	今年は火災訓練は6月に、入居者と一緒に行った。2回目は12月の予定		今後 災害については地域と連携をとりながら進めていきたい。また非常食等最低限の備品備蓄についても検討していきたい
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個別対応を行っているが、マンツーマンケアでない為リスクはあり得ることを家人に説明させていただいている		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中4 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェック行い、少しの異変も看護師へ伝え対応している		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が行っている。説明書はいつでも目が通せるようにして職員全員が理解している		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分や寒天を多く摂取できるように工夫している。体操等気軽な運動は真夏の間も行っていたが、激しいスポーツは控えた		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけ支援を中心に行っている		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ふれあい厨房の管理栄養士指導の下食事提供を行っている。また一人ずつ盛り付けの量に変化をつけて、完食できる満足を味わっていただくように配慮している		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成。手洗い・手指消毒を看護師指導の下法人全体として徹底して取り組んでいる。また排泄介助は手袋を使用して感染予防に注意している		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器は毎食後消毒し、まな板や布巾等は一日一回消毒している	○	冷蔵庫を過信しないように心掛けている
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 2項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	豪華ではないあたりまえの玄関、フェンスには布団が干してあったりと家庭的である		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同場所はどなたでも気軽に利用できるように配慮、声かけしている。またクラブで作った作品を飾ったり皆さんの手作り作品で安心される空間作りを心掛けている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所々に椅子を置いたり和室の下段に座り寛げるように工夫している		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆっくり寛いでいただけるように、個別に入居者に合った工夫を行っている。また消臭効果として各居室に炭をおいている		本人が喜ばれる家人の思い出の品を持ってきていただく(自筆絵画・写真・等)
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一人ずつに合わせた温度調節を行っている		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで、必要なドアは引き戸で開けやすい		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一度入居されたら申し出が無い限り居室の変更は行わない。ドアの明かり取り窓の形を替えて目印となるように工夫している		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	日頃の生活の写真を壁に貼り、思い出していただく		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
	↓○印欄
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の思いを責任者を通じて理解できている ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある が職員の配置が少ない日は見守りのみとなる ③たまにある ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が 自分に合ったペースで生活されている ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が 個別の声かけで生き生きされる ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 希望される。中には外出を好まない方もおられるが、声かけにて出かけていただく ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が 併設の看護師に様子観察行ってもらえ安心される。異常あれば主治医に相談行う ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者と職員との間に信頼関係があると思われ、対応に安心されていると思う ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と 特に面会時信頼関係が築けるよう努力している ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに近隣の方が遊びに来てくださる ④ほとんどない
項目	取り組みの成果 14 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている。会議時「手を差し伸べる方法は？」と言っただけ、気持ちの距離がぐんと縮まったようである。 <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が 仕事に生きがいを感じている <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが 満足していただけていると思うが、帰宅願望で不穏な時間帯は満足されていないのではと思われる <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が 満足して頂いていると信じ、ケアに励んでいる <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

朝食及び昼食は配食サービスを受け、夕食のみをていねいにホームで準備している。皆様に食材(主に野菜)には触れて頂く様に心掛け、昔料理していた頃を思い出していただきたいと考えます。洗濯干しは、さり気無く種類を分類し、毎日同じ物を干していただくように配慮しています。月毎に箸袋を作り、自分の名前を記入していただき名前を書くことを思い出していただけます。以上家で生活を大きく変えることなく、なるべく同じサイクルで生活を送っていただけるようにしています。しかし年中行事である・ぶどう狩り・渋柿もぎ・干し柿作り・納涼祭等は楽しみの行事として覚えていただけます。季節が来れば催促して職員の背中を押していただけます。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目

ー2.(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

V サービスの成果に関する項目について

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日:19年 9月 25日

前回評価年月日:18年 9月 21日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な 行動	達成度評価	次期評価 実施時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
2	1	三つの“かける”を基本としたケアを行う	20・4	課内会議にて確認		19・12
5	10	地域との交流がもう一歩踏み込めていない		地域の皆さんの名前と顔を覚えていく		20・8
10	14	研修の場としての場所の提供		多数の出入りは不穏となられる可能性がある ので思案中です		
18	13	職員の移動を無くしていきたい		本音で話し合えケアの悩みを共有していく		19・12
22	12	向上心を持って働く		シフトにゆとりを持つようしていく		
27	3	お互いに支えあう関係でありたい		人生の先輩であるということ を忘れずに共に生活していく		19・12
28	2	家人と共に本人を支える		まず家人が安心されるようにアルバムで日頃の生活を知っていただく		19・12
31 3 3	4	入居者同士の支えあい		その方のできることを把握して助け合えるように支援する		19・12
34	5	暮らしの把握		センター様式の補足記入		20・1
51	6	自己決定の支援		選んでいただく、お願いするという事を大切にする		19・12
59	7	その人らしい暮らしを		家事の分担を行って助け合い満足度を高める		19・12
62	9	外出への支援		全員でなく出かけた 人を好きな所へ連れて行きたい		
68	8	危険物品について		無くしてしまうのでなく安全な使用方法を身につけていただく		19・10
79	11	食材管理		冷蔵庫を過信しない。 また徹底した清潔管理		19・10